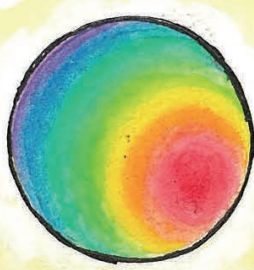


おかげさまで今年で40周年を迎えます  
これからも  
~子どものいるところどこへでも~  
飛んでまいります!!



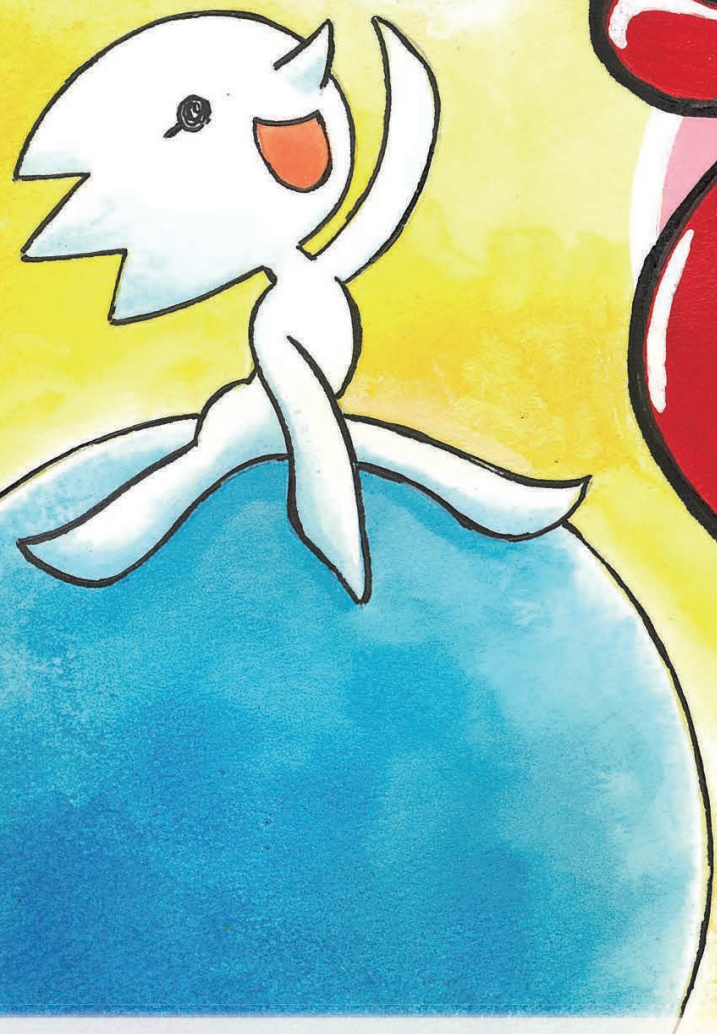
ピピピ

の



ひ

っ



演出：あさのゆみこ 美術：小峯三奈 音楽監修・効果：曲尾友克 身体表現：山本光洋  
制作：矢野ひとみ おはなし『ナオトくんのプリン』作：寺崎花絵 絵：山本佐助



## 演出にあたって

最近「あ!」「おっ!」と驚いたり何かを発見したことがありますか?私は・・・ありません。  
 驚いたり発見する前に想像出来てしまうからでしょう。  
 それは残念な事ではなく、私なりの経験が積み重なってそうさせるのだと思います。  
 さて、子どもたちは今、まさに驚き・発見の毎日を過ごしています。  
 その体験が子どもたちの心をどんどん豊かにしていくのでしょうか。このお芝居を観て、小さな驚きや発見がありますように。

演出 あさのゆみこ

# ピ の ピ

### ～前編～

身体を使った  
表現遊び

などなど・・・

### ～後編～

おはなし

『ナオトくんのプリン』

主人公ナオトくん5歳の  
小さな小さなぼうけんの  
おはなしです。

作：寺崎 花絵



## 制作にあたって

小さな公園の遊具に寝ころび、冬の午後のわずかな日差しと頬をなでる風にあたりながら“いい〜きもち”と3歳の女の子がつぶやきました。

何て素敵なのでしょう〜。

小さな人たちが、こんな瞬間をたくさん感じながら豊かに育って欲しい。そして、その環境を私たち大人は守っていかなければいけない。と思った出来事でした。この作品を通して子どもたちが思わず笑顔になり、心動きだす出会いになればと願って制作しました。

矢野ひとみ



## 劇 団 紹 介

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島での公演をしています。

1990年からは国内だけではなく、韓国、中国、インドネシア、パキスタン、インド、シンガポール、オーストラリア、カナダ、アメリカなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演作品『マンナム〜出会い』を創り上演してきました。アシテジ(国際児童青少年演劇協会)の「国際フェスティバルinソウル」では日本代表としても参加しました。

これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。

